



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 3 月 16・17 日(火・水)
東海大ロケットプロジェクトがほっとステーションに 編

3 月に入り、東海大学工学部航空宇宙学科の学生らでつくる「東海大学学生ロケットプロジェクト(TSRP)」によるロケットの組み立てに、ほっとステーションを使わせて欲しいという要望があり、快くお引き受けしました。

学生によるこのハイブリットロケット研究団体は、国内で最も早く組織され、今年で 8 年目を迎えるのだそうです。6 年前から柳町の空き店舗を利用しており、上町では初めての試みでしたが、能代の活性化を考える畠議員の熱い情熱と、次世代を担う方々の、能代から宇宙への発信である「宇宙イベント」のお手伝いをさせていただけることは大変光栄なことで、すみれ会一同でサポートすることにしました。

組み立ては 2 日間でしたが、セキトの「おやき」と「あばんしえマップ」の差し入れは大変喜んでいただけたようです。18 日に予定していた H-21 号機打ち上げ実験は強風のため 19 日に延期され、午前 10 時打ち上げ予定の連絡を頂き、すみれ会メンバーも落合の旧能代海水浴場へ……。この日は、好天に恵まれ青空の中に白神山地のパノラマがくっきり！ 最高の打ち上げ日和でしたが、残念ながら打ち上げは失敗に終わりました。何カ月もの時間を費やしてきた貴重な瞬間でしたが、若者には明日があります！ 次回(夏)を楽しみに待ってますよ～(^ー^)

22 日の出発前日は上町「やま久」で懇親会(これも打ち上げ?)。若いエネルギーに刺激を受け、おばさん「すみれ会」も大ハッスル！ きりたんぽの鍋指導や蟹の身をかがいしく取って上げたりと、満面の笑みがこぼれ、HOT な交流ができました。ほっとステーションの感想を聞くと、「とっても使い易くて良かったです」とにっこり。最高に嬉しい瞬間でした。

「夏も是非来て下さいね」の言葉に「宜しくお願いします」と爽やかな返事が帰って来ました。夏には、複数の大学の学生が 300 人ほど能代入りするとのこと。数日間、能代のまちが賑やかになります。いつかこの学生さんが社会人となり、能代を助けてくれるかもしれません。若者は「宝」です。みんなの夢が叶うといいですね！！

文：能登 祐子



絶好のお天気でしたが、まだまだ海辺の風は冷たかったですね。



みんなの見つめる先には白神山地を背景に、ほっとステーションで組み立てた打ち上げを待つばかりのロケットの姿。結果は・・・。



若者との HOT な交流にすみれ会も元気を貰いました。また夏にお会いしましょう！